

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月09日

計画の名称	下水道施設の安全安心なまちづくり らんざん												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和03年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	嵐山町												
計画の目標	下水道施設状況を把握・評価し施設の状況を予測し計画的かつ効率的に管理しながら、施設の安全性の確保と良好な施設状態の維持を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	26	A	26	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31末)	中間目標値 (R02末)	最終目標値 (R03末)
1	ストックマネジメント計画策定率を0%(R1)から100%(R2)に増加させる。 ストックマネジメント計画策定率 計画策定済数/計画策定総数(1計画)	0%	0%	100%
2	ストックマネジメント計画に基づく管渠の調査実施率を0.0%(R1)から100.0%(R3末)に向上させる。 ストックマネジメント計画に基づく管渠調査実施率 調査実施済延長(838m)/調査を実施する延長(838m) 管渠総延長(76,691m)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	嵐山町	直接	嵐山町	-	改築	ストックマネジメント事業	ストックマネジメント計画策定	嵐山町						16		-	
	A07-002	下水道	一般	嵐山町	直接	嵐山町	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント事業	管渠施設の点検・調査	嵐山町						10		-	
												小計						26		
												合計						26		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の透明性、客観性、公平性を確保するため、知識経験者や町民から構成された「嵐山町上下水道事業運営審議会」を設置し、目標の達成状況や今後の方針等の審議を行うための審議会を開催した。	事後評価の実施時期	令和5年2月
		公表の方法	町ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【指標】評価値は、最終目標値100%を達成する結果となった。 計画策定により、今後計画的に調査が実施される。</p> <p>【指標】評価値は、最終目標値100%を達成する結果となった。 調査対象管渠において、腐食等による劣化が確認された。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	人口減少等の影響により、従来のような下水道使用料の伸びが見込めない一方で、下水道施設の改築、修繕等が増加することにより維持管理費が増加し下水道事業の経営環境は厳しくなることが予測される。ストックマネジメント計画により計画的な維持管理をすることで下水道事業経営の安定化を図れる。

特記事項（今後の方針等）

ストックマネジメント計画に基づき引き続き調査を実施する。その調査結果に基づき、緊急度に応じて必要な修繕等を実施する。
--

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%